

北海道・東北ブロック予選フットベースボール競技における 新型コロナウイルス感染症対策について

※『日本障がい者スポーツ協会 感染症拡大防止ガイドライン』等を基に、本大会の取り組みとして、来場者全員（大会関係者を含み）にこちらの対策を実施いたします。共有使用するもの（ベンチの座席、利用可の観覧席、試合球など）のアルコール消毒は、大会スタッフが実施いたします。
※来場者の皆様へは、下記の内容を確認の上、ご協力をお願いいたします。

■体調管理

参加に際し、体調・健康に不安のある場合は、かかりつけ医に相談の上、参加の判断をして下さい。

■体調チェックシートの提出

別添2『体調チェックシート』に大会前2週間分の体温・健康状態を記入し、チーム全員分（監督・コーチ・同行者を含む）の内容を確認・とりまとめの上、別添1『当日受付用紙 チーム取りまとめ用』と合わせて受付時にご提出をお願いします。

なお、入口付近に設置されているモニター式検温システム及び受付に準備している非接触型体温計をご利用下さい。

無観客としますが、同行者として、ご来場される方は、各チーム必要最小限入館可とします。ユニホームを着用しない方は、**入館カード**が必要になります。エントリー票に記載のない、同行者等いる場合は、**6月18日（金）**までに、**名簿（任意書式 チーム名・同行者の氏名を明記）**をご提出ください（FAX・メール等）。入館カードは、名簿を元に受付時に体調チェックシートと引き換えに人数分お渡しいたします。

※前もって提出いただく名簿に氏名のない方、体調チェックシートの提出のない方の入館は原則お断りいたします。

※『体調チェックシート』の全ての項目にチェックがない場合、または、適切に体調管理がされていないと主催側が判断した場合は、大会の参加はできません。

■感染症対策について

- ・当日、体調不良（のどの痛みや咳等）が見られる場合は参加をご遠慮下さい。
- ・会場内での場面の切り替え時は、手指消毒・手洗いをお願いします。
- ・三密（密閉、密集、密接）を避け、大声を伴う利用（かけ声、大声での会話）は控えてください。
- ・マスクはご持参の上、基本的に（ベンチ・移動時等）マスク着用とする。（試合中・練習時には熱中症等の予防を優先し、外しても可とする）
- ・汗ふきタオルと手洗いタオルを分けて使用をお願いします。
- ・ペットボトルやタオルなどは個人専用とし、ジャグの共用、紙コップの使い回し、ペットボトルの回し飲みは避けてください。
- ・咳エチケットにご協力ください。（くしゃみ・咳をする時は、口をティッシュ等でふさぐ。）
- ・ゴミ（汗や鼻水等が付いた物）はビニール袋に入れ密閉しお持ち帰り下さい。

- 観覧席は、試合以外のチームのみ3階の一か所を利用可とします。(試合終了後、消毒します)
- 控室は各チーム指定された場所のみとします。(1階：宮城県・岩手県、2階：仙台市)
- 控室の在室時は、換気のため出入口を開口してください。(貴重品の扱いにはご注意ください)
- 昼食は、控室のみ座席の間隔を空けての利用とし、黙食としてください。
- 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は速やかにご報告ください。
- 厚生労働省から提供されている接触確認アプリ(COCoA)などのご利用をお願いします。

■競技上の注意

- 他の参加者、大会スタッフ等との距離を1m以上確保し、握手等は行わないでください。(例：試合前の両チームの監督と球審が打順表の最終確認をする際、キャプテン同士のジャンケンにより先攻後攻を決める際、選手交代通告やアピールプレイ時など監督と審判員が近付く際など)
- チーム内も同様に1m以上確保し、グラウンドおよびベンチ内においても握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触は避けてください。(説明や指示する際も間隔を維持)
- ベンチは、座席を1席空けて使用してください。なお、間隔を空けることでベンチ数が不足する場合は、ベンチ横の指定する観客席もベンチとして使用可とします。
- 監督などがベンチ内からグラウンド上のプレイヤーに指示や応援をする際は、大声にならないよう十分に注意し、メガホンなどの使用は控えてください。
- 試合前やイニング間の円陣や声出しは禁止とします。
- 試合開始時の整列および挨拶は、球審の集合の合図で両チームがベンチ前に整列し、発声をせずにその場で一礼するのみとします。試合終了時も同様の方式とします。
- 試合中、出場プレイヤー(DP、FPの指名選手を含む)はマスクを外しても構いませんが、監督、コーチ、同行者、試合に出場していない控えプレイヤー、交代してベンチに戻ったプレイヤーはマスクを着用してください。リエントリーとして再出場する場合は、その時点であらためて出場プレイヤー扱いとします。
- 唾を吐く行為は禁止です。
- 球審がタイムを宣告した場合など、ボールデッドの間にグラウンド上のプレイヤーが周りのプレイヤーと話すことは禁止しませんが、1m以上の間隔を確保して直接対面で話すことがないように注意してください。
- 試合球は複数個用意し、消毒した状態で交換に備えます。ファール、ホームラン後のプレー再開時およびイニングの攻守交代時にも交換します。
- チーム内で用具の共有は可能な限り行わず、やむを得ず共有する場合は、チームにてこまめに消毒してください。

■審判員について

- 会場内では、原則としてマスクを着用すること。
- 球審および塁審は危険回避などやむを得ない場合以外はプレイヤーに触れてはいけません。